

The Position of the Auxiliary Verb in Chinese  
Wen Chuxiong  
(文楚雄)

中国語の助動詞の位置

文 楚 雄

I 始めに

中国語の助動詞は助動詞の機能を持つと同時に動詞としての機能をも持つ。また副詞的な働きを持つと同時に、副詞ではない機能をも持つ。このような性格を持っているため、中国語の助動詞は品詞の分類においては独立の一種類として成立するかどうかはいまだに統一されていない。助動詞について最初に論じた書物は「馬氏文通」<sup>1)</sup>である。「馬氏文通」では「可、足、能、得」等字、助動字也。不直言動字之行、而惟言將動之勢、故其后必有動字以續之者、即所以言其所助之行也。」<sup>2)</sup>と示してある。ここで示しているように、「馬氏文通」では、「助動字」と呼んでいたのである。「助動字」から「助動詞」に名称を呼び変えたのは章士釗の『中等国文典』<sup>3)</sup>である。助動詞をめぐる、国語学者達はそれぞれかなり違う考え方を持っている。

まず動詞説がある。助動詞はあくまで動詞の中の種類で、助動詞として独立するまでにはなっていないと主張する。例えば、趙元任や朱德熙らは他動詞として見る<sup>4)</sup>。陸志韋や陸宗達らは普通の動詞として見る。黎錦熙や張志公らは動詞の種類や能愿動詞として見る<sup>5)</sup>。次に副詞説がある。王力や呂叔湘らは助動詞を副詞として見る<sup>6)</sup>。次は助動詞を独立した種類の品詞として見る説である。錢乃榮や胡裕樹らは助動詞を独立の種類の品詞として見る<sup>7)</sup>。このように中国語の助動詞は品詞としてどう見るべきかは学者の間では意見がかなり分れている。また助動詞の数も説によってかなり違っている。趙元任はもつとも多く、48個もみとめている<sup>8)</sup>。朱德熙は27個、呂叔湘は17個、胡裕樹は12個とみとめている<sup>9)</sup>。

また助動詞をとまなう文の構造の分析についても様々である。例えば、

你会说汉语吗？

について構造分析を行うと、次のような五種類の分析がある。

複合述語として見る<sup>10)</sup>。

你 会说 汉语 吗？<sup>11)</sup>  
 S      V      O

述語と目的語の構造として見る<sup>12)</sup>。

你 会说 汉语 吗？  
 S      V      O

述語と補語の構造として見る。

你 会说 汉语 吗？  
 S      V      C

副詞と述語の構造として見る<sup>13)</sup>。

你 会说 汉语 吗？  
 S      Ad      V      O

助動詞と述語の構造として見る<sup>14)</sup>。

你 会说 汉语 吗？  
 S      Au      V      O

このように説によつては品詞分類においても、文の構造分析においても、見方がかなり違うのである。本稿ではこのような現状をふまえながら、助動詞の問題を取り上げたいと思う。

助動詞は一般的に動詞の直前に置き、動詞との間には何も伴わない。しかし、一方では現実の言語生活の中では、助動詞は必ずしも動詞の直前に置くとは限らない。助動詞は動詞から離れ、その間に他の成分が置かれたりする場合も少なくない。本稿ではこのような性格の助動詞を取り上げ、助動詞はどのような場合に動詞と分断することができるのか、分断された時にどういう成分がその間に入れられるのか、助動詞はどこに置くべきなのかなどの問題を考察して、文の構造上の特徴や条件などをあきらかにすることを試みたい。

## Ⅱ 助動詞と動詞・副詞との違い

### 2-1 助動詞と動詞との違い

助動詞と動詞との違いは主として次のような点が上げられる。

A、動詞はダブルで使うことができるが、助動詞はダブルでできない。

動詞：看→看看→看一看 ○

听→听听→听一听 ○

你听听他们的意见吧。

我看一看日程吧。

助動詞：能→能能→能一能 ×

会→会会→会一会 ×

可以→可以可以→可以一可以 ×

B、動詞は一般的に過去や進行を表わす助動詞「着」、「了」、「过」を伴うことができるが、助動詞はできない。

動詞：读→读了→读过→读着 ○

他读了这本书。

他读过这本书。

他正读着这本书。

助動詞：能→能了→能过→能着 ×

应该→应该了→应该过→应该着 ×

C、動詞は受け身にすることができるが、助動詞はできない。

動詞：知道→被知道 ○ 打→被打 ○

这件事被知道了。

孩子被打了。

助動詞：会→被会 ×、能→被能 ×、可以→被可以 ×

D、動詞は一般的には程度を表わす副詞の修飾を受けないが、助動詞は受けられる。

動詞：很→很打球 ×、非常→非常写文章 ×、极→极读书 ×

助動詞：很→很会打球 ○、非常→非常能写文章 ○、极→极想读书 ○

他很会打乒乓球。

小王非常能写文章。

我极想读那本书。

E、否定の時には動詞も助動詞も「不」を使うが、動詞は「不」のほかに「别」「没」も使う。助動詞は使わない場合が多い。

動詞：去→不去→别去→没去 ○

助動詞：会→不会○→别会×→没会×

应该→不应该○→别应该×→没应该×

不→ 星期天我不去学校。○

我不会说汉语。○

别→ 星期天你别去学校。○

我别会说汉语。×

没→ 星期天我没去学校。○

我没会说汉语。×

F、動詞は名詞目的語を伴うことができるが、助動詞は一般的にはできない。

動詞：学习→我学习汉语和英语。○

助動詞：能→我能汉语和英语。×

可以→我可以汉语和英语。×

G、動詞は補語を伴うことができるが、助動詞はできない。

听→我听了一个小时。○

能→我能了一个小时。×

会→我会了一个小时。×

## 2-2 助動詞と副詞との違い

助動詞と副詞との違いは主として次のような点が上げられる。

A、助動詞は否定式があるが、副詞には否定式がない。

助動詞：会→不会 ○、能→不能 ○、可以→不可以 ○

副詞：非常→不非常 ×、极→不极 ×、一直→不一直 ×

B、助動詞は「不」を伴う「A不A」式を作ることができるが、副詞にはできない。

助動詞：会→会不会 ○、能→能不能 ○、可以→可不可以 ○

你会不会说法语？

你能不能唱英语歌？

我可不可以去？

副詞：已经→已经不已经 ×、非常→非常不非常 ×、十分→十分不十分 ×

C、助動詞は述語として使えるが、副詞は使えない。

助動詞：会→你会说汉语吗？ 我会。

能→你能游蛙泳吗？ 我能。

副 詞：也→你也去吗？ 我也。×

常常→你常常打球吗？ 我常常。×

### Ⅲ 助動詞の位置

#### 3-1 動詞と助動詞

助動詞は基本的には動詞と直接結びつき、動詞との間には何も置かない。

①舞会设了大奖，化装化得最成功的舞伴可以获得昂贵的奖品呢。（《中国新文学佳作集成3》P46）<sup>15)</sup>

②大使离职可以当导游，部长下野当推销员。（《一九八七年短篇小说选》P478）<sup>16)</sup>

③你可以拥护，可以反对，但不能没有尊重（《马桥辞典》P20）<sup>17)</sup>

④实在有困难的，就应该扶助救济，搞社会主义不能饿死人。（《马桥》P35）

⑤屈原选择这里作为长眠之地，很可能有我们尚未知晓的原因。（《马桥》P42）

棒線で示しているように助動詞は動詞と直接結びついている。

否定の場合には否定の言葉は助動詞の前に置く。

⑥如果他不能救助这个世界的话，他至少可以拒绝这个世界。（《马桥》P42）

⑦我不想去巴结比我高的人！（《小说选》P468）

⑧两分钟前他不会想到自己居然要赢。（《新佳作》P10）

⑨中国人一方面看重人情，另一方面又不可以欠人情。（《说汉语谈文化》P51）<sup>18)</sup>

⑩他不敢回答，不能哭出自己的声音。（《马桥》P16）

棒線で示しているように否定の言葉は助動詞の前に置く。

#### 3-2 介詞連語と助動詞

動詞の前に動詞を修飾する「介詞連語」がはいる場合には、助動詞は、介詞連語の前に置く。

A、対象を表わす介詞

介詞「与」で構成している介詞連語

1. 李经常义务地帮教这门课的教授干些私活，希望能与这位教授搞好关系。（《说

谈》P97)

2. 连急腹症病人动大手术前也要与护士小姐下一盘棋。(《佳作》P1)
3. 一般说来, 他不会与这些女人计较。(《马桥》P59)

介詞「跟」で構成している介詞連語

4. 宴会结束的时候, 先吃完的人, 应该跟其他人打招呼“慢慢吃”。(《说谈》P13)
5. 当然最好是你反问他, 中国人会愿意跟你谈他们自己的。(《说谈》P19)
6. 街上买来的豆腐脑怎么能跟年羹尧家的比呢?(《佳作》P163)

介詞「给」で構成している介詞連語

7. 您能给我再举个这方面的例子吗?(《说谈》P122)
8. 上班前下班后还要给关系户治牙, 无暇重整棋艺。(《佳作》P4)
9. 老柯不知父亲为什么独独要给他留下一顶帽子。(《佳作》P23)

介詞「为」で構成している介詞連語

10. 那么, 他真的不能为她送行了。(《小说选》P455)
11. 她们可以为赶场、送猪、帮工等事情请假, 但不会把假期留给自己的身体。  
(《马桥》P31)

12. 她从未能为自己的孩子骄傲过。(《佳作》P343)

介詞「向」で構成している介詞連語

13. 你愿不愿意向残废人协会捐款?(《佳作》P3)
14. 她就晓得我不会向你告密才不避我, 其实我早就知道她跟那个小白脸……。  
(《佳作》P49)

介詞「随」で構成している介詞連語

15. 你愿意随我去树林里吗? 我的意思是你坐着不动, 用力呼吸, 你可以随我去树林里了。(《佳作》P36)

介詞「由」で構成している介詞連語

16. 你看是不是这样, 看电影的钱你付, 吃饺子应该由我请客, 怎么样?(《说谈》P103)

介詞「对」で構成している介詞連語

17. “科学”这个词既不能对罗伯等马桥人猖狂诋毁科学的言论负责, 也不能对马桥汉子们在公路上抄起扁担对科学成果群起而攻的偶发事件负责。(《马桥》P41)
18. “干面事”是男孩女孩之间的隐私, 不可以对别人讲。(《佳作》P244)
19. 越是这样的孩子, 越是要对他好一点。(《佳作》P339)

棒線と波線で示しているように助動詞は介詞「与」「跟」「给」「为」「向」「随」「由」

「对」で構成している介詞連語の前に置いてある。

#### B、方向を表わす介詞

20. 错了, 你该往吊桥上去。(《佳作》P122)

21. 到了这个地步, 只能往宽处想了。(《马桥》P75)

22. 人们有好事的时候尽可以离它们而去, 尽可以把它们忘得一干二净。(《马桥》P65)

23. 你只要将一只耳朵随随便便地贴在一棵水杉的树皮上, 你的听觉就可以朝下深入到树的根部。(《佳作》P37)

棒線と波線で示しているように助動詞は介詞「往」「离」「朝」で構成している介詞連語の前に置いてある。

#### C、方式や方法を表わす介詞

24. 你这该死的家伙, 你想用这种办法来折磨我是不是? (《佳作》P53)

25. 因为我能用物理或化学的知识来解释鲜花和山路, 我开始变得强大。(《马桥》P71)

26. 这里可以用最经济的办法知道想知道的一切。(《佳作》P138)

27. 不但可以用各种各样硬纸盒堆造假房子院落, 还可以用废针管滋水开仗。(《佳作》P244)

28. 根据它的字形、书写工具以及出土现场, 希伯来人可能以足够的聪明和博知, 断定这是中文。(《马桥》P68)

29. 他应该以洪亮的声音高喊一句口号, 少年屏足力气刚想喊出那句口号, 学校的女教师冲上来把他往下拉。(《佳作》P119)

棒線と波線で示しているように、助動詞は介詞「用」「以」で構成している介詞連語の前に置いてある。

#### D、場所を表わす介詞

30. 人们可以从很远的地方发现那帽子, 常常就在很远的地方招呼老柯。(《佳作》P25)

31. 他每天黄昏时分, 都能从一个颇远的角度, 骑着车子, 一点一点地接近灯光灿烂的城市。(《佳作》P111)

32. 这种人不少, 来北京的时候, 一路捡烂纸能从公主坟捡到西单。(《佳作》P317)

33. 他完全可以把这匹纸马从老人眼底下带走, 为什么不呢? (《佳作》P124)

34. 她差不多想在海南岛评出一次超级诺贝尔文学奖。(《马桥》P19)

35. 他还能在别的什么地方得到更为明亮刺目的一一醒？他还能在别的什么地方更能理解自己一直珍视的一一醒？（《马桥》P43）

36. 她是天生招惹男人的货色，不能在我的饭馆里生事。（《佳作》P313）

37. 我一辈子不能只是在电视上见过北京。（《佳作》P300）

棒線と波線で示しているように、助動詞は介詞「从」「在」で構成している介詞連語の前に置いてある。

#### E、時間を表わす介詞

38. 刘庸生站在门边颇感后悔未能在修表铺关张之前来挑几件旧货。（《小说选》P468）

39. 老人甚至想，要是自己能在长谈中死去，该是多么幸福。（《佳作》P113）

40. 不过，他的竞技状态也使得他不能在这次国际比赛中取得花冠。（《小说选》P455）

41. 王宝应也不能从早走到晚，他得有几个熟识的店铺歇歇脚。（《佳作》P162）

42. 他大概是不可能在梦里看见他的。（《佳作》P286）

棒線と波線で示しているように、助動詞は介詞「从」「在」で構成している介詞連語の前に置いてある。

#### F、比況を表わす介詞

43. 他们应该像两个男人一样坐下来大度地说些男人间的事。（《佳作》P14）

44. 车辆、行人，只能像小甲虫一样，在那上面慢吞吞地爬行。（《佳作》P110）

45. 你应该像你大伟哥这样，好好学习，将来上大学。（《说谈》P18）

棒線と波線で示しているように、助動詞は介詞「像」で構成している介詞連語の前に置いてある。

#### G、目的語を表わす介詞

46. 即便合用一个执照，你还能把我吃了不成。（《小说选》P469）

47. 你这个不懂事的孩子，我告诉你，你千万不能把它带回家。（《佳作》P124）

48. 他能把真牙修理得赛假牙一样漂亮，也能把假牙作得赛真牙一样得用。（《佳作》P151）

49. 我不知说什么好，只能把一碗冷水喝得足够的长久。（《马桥》P59）

50. 石头足以吓跑其它鱼，却能把它们聚到一起——是好奇心害了它们。（《佳作》P204）

51. 他本来应该将另一扇窗也推开请客人进来的。(《佳作》P21)

52. 你应该将手掌朝着头部的正上方, 指头尽力张开, 这样你就会有那种感觉。(《佳作》P34)

53. 很多中国人还不能将其与相应的脸型、服装、语言、风俗特征随时联系起来。(《马桥》P18)

棒線と波線で示しているように、助動詞は介詞「把」「将」で構成している介詞連語の前に置いてある。

### 3-3 状語の前に置く助動詞

動詞や形容詞の前にその動作や状態を修飾する描写性状語などが入る場合には助動詞はその状語の前に置く。

#### A、「地」を伴う状態や性質を表わす状語

1. 从这以后, 我借来了三轮车, 我想, 我该认真地学着骑车了。(《说谈》P151)

2. 于是老柯的妻子只能一遍遍地征询他的意思。(《佳作》P27)

3. 他的软弱表现在他不能洒脱地面对现实。(《小说选》P487)

4. 我可以彻夜不眠地与她谈话, 就因为她的噪音。(《佳作》P35)

5. 在他周围的人中, 已经没有人能够耐心地听他说。(《佳作》P283)

6. 你们, 城里人为什么不能平等地对待我们呢。(《佳作》P311)

棒線と波線で示しているように、助動詞は「地」を伴う描写性状語の前に置いてある。

#### B、方式や状態を表わす状語

7. 感谢他为他提供了一个可以名正言顺离开这个家的理由。(《佳作》P50)

8. 你可以不直接回答他, 也可以告诉他你不喜欢他问这些。(《说谈》P19)

10. 如果他不能具体说出他的饭店的饭菜怎么粗, 怎么不可口, 那就是故意损害他的饭店。(《说谈》P47)

11. 请上我家去看看, 可以当面试验。(《小说选》P469)

12. 老太太说: “能独来, 就能独往, 送都是越送越远”。(《佳作》P68)

13. 刚有人宣布自己可以一次吃下三斤饭, 马上就有人宣布自己可以一次吃下二十个包子。(《马桥》P15)

14. 总要根据对方的年龄、地位等不同的情况, 来决定自己应该怎么说怎么做。(《说谈》P19)

15. 一无所有，一无所长，一无所知，连该怎么到您这儿来做客我也实在是不明白。(《佳作》P7)

16. 她不能一下子适应这里的高速多变、人情淡薄的物质主义生活。(《佳作》P132)

17. 他觉得应该马上离开这里，否则会有危险了。(《佳作》P87)

棒線と波線で示しているように、助動詞は波線で示している方式や状態を表わす状語の前に置いてある。

#### C、頻度や時間の強調を表わす状語

18. 最近新出一种健老洋参精吃了以后白发都能重新变黑。(《佳作》P9)

19. 看来我还应该多了解中国的风俗习惯，并且还要能区别好的和不好的。(《说谈》P21)

20. 赵善思鉴于爹爹爷爷的遭遇，本来不想再下海摸棋。(《佳作》P2)

21. “养修。”这一声儿真实得不能再怀疑了。(《佳作》P183)

22. 即使面对同事他也能几年不与他们说话。(《佳作》P16)

23. 并不缺乏自由和潇洒，甚至可以常常自比神仙。(《马桥》P44)

24. 她们一致认为，人都应该早死。(《马桥》P76)

25. 一个当娘的，不能老叫孩子这样哭啊！(《佳作》P340)

26. 我就一杯，不能再喝了。(《佳作》P269)

棒線と波線で示しているように、助動詞は波線で示している頻度や時間の強調を表わす状語の前に置いてある。

#### D、比較や程度を表わす状語

27. 那你也不能这么胡来，二狗子知道了咋办？(《佳作》237)

28. 若连梦也做不起，那就更惨，不能这么不公平吧。(《佳作》P284)

29. 你们怎么能这样残忍？(《佳作》P338)

30. 那个老乡要他去帮忙做生意，准能比枯坐街头挣更多的钱。(《佳作》P320)

31. 可是也不能太拖了。(《佳作》P268)

32. 造好之后不能雨淋，不可日晒，也不能轻易下水。(《马桥》P64)

33. 乡下条件有限，只能因陋就简，在道具服装等方面是不能太讲究的。(《马桥》P51)

34. 他觉得他非得跳进去才能真看见窗前这个男人。(《佳作》P14)

35. 一个人行之将死而且死于非命，不可能什么也不说。(《佳作》P214)

棒線と波線で示しているように、助動詞は波線で示している比較や程度を表わす

状語の前に置いてある。

### 3-4 状語の後に置く助動詞

動詞の前に動詞の動作や状態を非描写的に修飾する非描写性状語が入る場合には助動詞はその非描写性状語の後に置く。

#### A、関連の意味を表わす状語

1. 一个问号打刘维祠心底升起，便不能散去。（《小说选》P508）
2. 他们将在天黑之前到达，他就能一了心愿。（《小说选》P455）
3. 如果要找工作，就必须把自己的优点都说出来，显示自己的优势。（《说谈》P36）
4. 他在此种状态之下自然又无法推辞，便只想应付一下而已。（《佳作》P9）
5. 他眼珠一转，就能判断出你口袋里是否有食物。（《马桥》P72）
6. 他必须挽起袖子，才能对得起这种压力。（《马桥》P72）
7. 只要我双手用力抓，就会抓到一些东西吗？（《佳作》P35）
8. 当各种各样的树木的香味弥漫于空中时，人就会忘记自己的年龄。（《佳作》P37）

棒線と波線で示しているように、助動詞は波線で示している関連の意味を表わす状語の後に置いてある。

#### B、疑問の意味を表わす状語

9. 而且有一些很隐蔽的想法，怎么可以当着面把灵魂深处的密码赤裸裸地破译出来呢。（《小说选》P477）
10. 她怎么可以用经济困难、手头紧作为理由来拒绝刘姥姥呢？（《说谈》P121）
11. 每次经过街头的理发店他都会偏过脸去，为什么要偏过脸去？（《佳作》P25）
12. 但是，试一试是不是可以改善？（《小说选》P490）
13. 你看，我是否能去和那位漂亮姑娘谈，问问她的个人情况？（《说谈》P19）
14. 不知道糟房怎么能收到那么多稗子作酒，一亩地才多少稗子？（《佳作》P42）
15. 齐刷刷的燕姓人丁中，怎么能多余一个姓武的？（《佳作》P97）
16. 这燕庄也是盘古开出来的，怎么能说是燕姓人开辟出来的？（《佳作》P98）

棒線と波線で示しているように、助動詞は波線で示している疑問の意味を表わす状語の後に置いてある。

#### C、ある種の語気を表わす状語

17. 看来还是得挣个科长什么的当当，以便在单位宿舍里能分到一套住房。（《佳

作》P59)

18. 也不知为什么, 我偏偏地极想吃石榴。(《佳作》P131)

19. 何况我也许能弄个自费签证出去呢! (《佳作》P134)

20. 我倒是愿意听你讲, 可我也不能挣昧良心的钱。(《佳作》P115)

21. 歌手发完一轮就呷一口酒, 借着酒力当然能发出更加杀劲更加刁钻难答的歌词。(《马桥》P46)

22. 可以断定, 如果马桥人看见了城里的交谊舞或男女同行, 一定也会将其纳入哩咯唧的范围。(《马桥》P59)

23. 没有失明的人, 怎么能够体验失明人的滋味, 就像你, 怕是不能体谅我的心情吧。(《佳作》P285)

24. 如果走得快, 也许能赶上半岛最好的季节。(《佳作》P211)

25. 他大概是不可能在梦里看见他的。(《佳作》P286)

26. 原先是个性情耿直、思想敏锐的小伙子, 看来如今也未能免俗了。(《小说选》P468)

27. 他忽生邪念, 心想如果能与这样的美人亲近一番也算不妄走一趟阳世。(《佳作》P7)

28. 我觉得我必须找个事来做, 不管是什么事, 只要能消耗精神, 打发时光倒贴钱也可以考虑。(《小说选》P467)

29. 但是, 我总不能赶客人走吧。(《说谈》P12)

30. 你总不能老在我们燕庄住呀。(《佳作》P97)

31. 当然都该怪该死的苏晓, 他明知是他背后拆台没当成科长, 却还请他喝酒祝贺什么的。(《佳作》P59)

棒線と波線で示しているように、助動詞は波線で示しているある種の語気を表わす状語の後に置いてある。

#### D、全部の意味を表わす状語

32. 窗内这个与丈夫有此相像的老男人无疑是冲她扬了扬手中的铲子, 可谁也不能肯定那含混的动作就意味着邀请。(《佳作》P15)

33. 他对美国时兴的想法和她对美国现实的了解一点也不能合拍。(《佳作》P134)

34. 一切的机械运动, 齿轮、凸轮、曲拐……无不可抽象为用活轴连在一起的四根杆的旋转与摆动。(《小说选》P464)

35. 我们的全部历史都未能逃脱时间的坐标。(《小说选》P462)

36. 女儿便把摘果实的时间改为日落之前, 让她的小伙伴都能体验那份欢乐。(《佳作》P66)

37. 跟他过的十几年, 睡的十几年觉, 都该算他白赚, 都不该是他名分下的。(《佳作》P80)

38. 难到只要是小关用左手做下来的事就任什么都可以原谅吗?(《佳作》P225)  
棒線と波線で示しているように、助動詞は波線で示している全部の意味を表わす状語の後に置いてある。

#### E、同様や追加の意味を表わす状語

39. 这是他几年前指导过专题课程设计的学生, 也可说是得意门生了。(《小说选》P467)

40. 当然你实在需要的话, 我也可以表演醋劲大发, 痛不欲生之类。(《佳作》P61)

41. 后来她在石榴上市时, 总要买几个回家。虽然不吃, 也要放在桌上作摆设。(《佳作》P130)

42. 男女之间随意打闹调笑一下, 也可以被称之为哩咯唧。(《马桥》P59)

43. 照顾他也是顺手的事儿, 就是上后园子摘菜, 尿尿的工夫, 也能跟他说几句话。(《佳作》P115)

44. 来真的也不见得能赢老局长, 惭愧了也!(《佳作》P9)

45. 就凭展目一观那人来车往的热闹场景, 讨价还价的精彩表演, 也能平添许多人生乐趣。(《小说选》P463)

46. 这将来万一有个灾有个病的, 他们还能管我, 备不住还得给我下毒呐!(《小说选》P471)

47. 有些男女还可以利用这个难得的机会自由交际。(《马桥》P51)

48. 他还要穿出他的灯芯绒裤子, 甚至还要戴上一副眼镜。(《马桥》P55)

49. 一月五十块, 分文不少, 而且还只能占一半, 另一半空着, 准备再租给谁谁谁……。(《佳作》P57)

50. 马桥人把“肯”字用得广泛得多, 不但可以用来描述人, 描述动物, 也可以用来描述其他的天下万物。(《马桥》P70)

51. 所有这些都和人一样, 甚至应该有它们各自的姓名和故事。(《马桥》P70)

52. 我们在这里喝个通宵, 也不会有个叫做老婆的人来打扰了。(《佳作》P49)

棒線と波線で示しているように、助動詞は波線で示している同様や追加の意味を表わす状語の後に置いてある。

## F、範圍を表わす状語

53. 苏晓不想跳, 只想喝酒, 那香槟是免费的, 机会难得。(《佳作》P49)
54. 泥朱终于只能旁观, 看着老迈的祖母的门牙破碎在口中。(《佳作》P37)
55. 男看护只能推着自行车走了。(《佳作》P115)
56. 但既然县里来的同志说锄头好, 他只能拥护。(《马桥》P56)
57. 正因为如此, 它也只能用哩咯哪这种含混不清若定若移的符号来给以敷衍。  
(《马桥》P59)
58. 庄稼连年歉收, 人们只能吃这种东西。(《佳作》P250)
59. 唯一可以肯定的是她有一副诱人的嗓子。(《佳作》P35)
60. 看来, 今后连做梦也不能不警醒些了。(《佳作》P180)
61. 最后, 连老师也不能幸免。(《马桥》P72)
62. 甚至刮风下雨和雪天也不能阻挡他在汽车站牌下的殷勤。(《佳作》P18)
- 棒線と波線で示しているように、助動詞は波線で示している範囲を表わす状語の後に置いてある。

## G、程度を表わす状語

63. 他极想跳进屋去寻找他从前丢失的那个“衣——服”。(《佳作》P14)
64. 虽然她的腿值得炫耀可她决不打算拿它爬窗户。(《佳作》P15)
65. 泥朱永远不能肯定祖母是否真的在笑, 也可能祖母从来笑笑吧。(《佳作》P30)
66. 那种事情根本不能算数。(《佳作》P34)
67. 我们完全可以认为我们谈话的此刻, 她就在窗处听。(《佳作》P35)
68. 最后女的竟能一个人喝一场《二进宫》。(《佳作》P44)
69. 这太恶毒太不能令人容忍了!(《佳作》P59)
70. 年轻的时候, 我非常能吸烟。(《佳作》P112)
71. 你这个不懂事的孩子, 我告诉你, 你千万不能把它带回家。(《佳作》P156)
72. 天下不会只有一个嘴角长痣的, 万万不能弄错。(《佳作》P156)
73. 他不能原谅这种斯文扫地的过失, 不能原谅路上的那根香蕉皮, 更不能原谅那个庸俗可恶的女孩小佩。(《佳作》P112)

棒線と波線で示しているように、助動詞は波線で示している程度を表わす状語の後に置いてある。

## H、時間を表わす状語

74. 你现在能挣多少钱呀?(《小说选》P471)

75. 以致于这重大骚动的信息, 好久没能传递到主人公的耳目里。(《小说选》P461)

76. 人们不知道他有一个儿子, 并且儿子曾经想进他的屋。(《佳作》P14)

77. 他没送儿子就那么稀里糊涂叫他走了, 那么现在他可以送他了。(《佳作》P17)

78. 每当我下决心准备回去而终于未能成行的时候, 我的愧疚就更甚。(《佳作》P93)

79. 生活上有许多悲剧往往能够避免。(《佳作》P101)

80. 上班前下班后还要给关系户治牙, 无暇重整棋艺。(《佳作》P4)

81. 水水神思恍惚, 好一段时间里不能相信儿子已经没有了。(《马桥》P75)

82. 码头下有铁柱, 水退时才可以看见, 上面还有许多模糊的古字。(《马桥》P9)

棒線と波線で示しているように、助動詞は波線で示している時間を表わす状語の後に置いてある。

### 3-5 助動詞の前後に置ける状語

否定、時間、場所、程度などを表わす状語は助動詞の前に置く場合もあり、後に置く場合もある。置く場所が違えば、修飾する範囲や対象も変化する。文の表している意味も違ってくる。一方、置く場所が違っても文の表わしている意味がほとんど変らない場合もある。

#### 1、否定の意味を表わす状語

A、否定の意味を表わす「不」が助動詞の後に置かれる場合にはその否定は助動詞にはかからず、助動詞以後の部分だけに限定する。このような使い方の用例は比較的少ない。

1. 他一辈子什么都可以不讲究, 就是睡的地方不可不讲究。(《马桥》P36)

2. 那里的人可以不吃饭, 不可以不下棋, 可以不会写自己的名字, 不可以不会下棋。(《佳作》P1)

3. 作瓦石棋应该不是他的曾祖父留下来的。是前清官府赏给他祖父的。(《佳作》P6) 棒線と波線で示しているように、波線で示している否定の「不」は棒線部の助動詞の後に置いてある。

B、「不」が助動詞の前に置かれる場合にはその否定は助動詞を含む動詞述語や述語全体にかかる。このような否定の用例はとても多い。

4. 男的不会下棋, 甬想娶媳妇。女的不会下棋, 甬想找婆家。学生不会下棋, 甬想毕业。(《佳作》P1)

5. 当时老人刚刚埋葬了不能生育的元妻。(《佳作》P109)

6. 他不能让它跳进茂密的草丛里去。(《佳作》P121)
7. 老人说, 你不能要这些东西, 它是给死人的, 给我的。(《佳作》P123)
8. 可见美国并不能满足人所有的需要。(《佳》作P131)
9. 费渔觉得这些错误不可原谅, 他不能忍受一个金玉其外败絮其中的女友。(《佳作》P168)
10. 在我的想象里, 马桥不应该没有一棵大树。(《马桥》P65)

棒線と波線で示しているように、波線部の否定の「不」が棒線部の助動詞の前に置いてある。

C、否定の「不」は動詞の前にも助動詞の前にも両方置いてある場合もある。

11. 可以说是这么纯, 也不能不秘密, 不然不得了。(《佳作》P179)
12. 对立派只能说几句名不副实的屁话, 也不能不承认他改得高。(《佳作》P182)
13. 我不能不设想, 一次残酷的迫害浪潮, 一次我们今天无法知道也无从想象的腥风血雨, 使“罗”字成为了这里的禁忌。(《马桥》P10)
14. 我不能不觉得, 臭味在这里已经不是气味, 而是无形的固体。(《马桥》P32)
15. 你不可不知, 钓翁之意不在鱼, 在乎道。(《马桥》P33)
16. 女医生又在那么尽责地做着人工呼吸, 不可能不出汗。(《佳作》P217)

棒線と波線で示しているように波線部の否定の「不」は動詞、助動詞の両方の前に置いてある。二回の否定となっている

## 2、時間や場所を表わす状語

A、過去の意味を表わす時間状語は一般的に助動詞の前に置く

17. 人们不知道他有一个儿子, 并且儿子曾经想进他的屋。(《佳作》P14)
  18. 泥朱终于只能旁观, 看着老迈的祖母的门牙破碎在口中。(《佳作》P37)
  19. 少年屏足力气刚想喊出那句口号, 学校的女教师冲上来把他往下拉。(《佳作》P119)
- 棒線と波線で示しているように、波線部の過去の意味を表わす状語は棒線部の助動詞の前に置いてある。

B、助動詞の前に否定の言葉を伴っている場合には時間状語は一般的に助動詞の前に置く。

20. 以致于这重大骚动的信息, 好久没能传递到主人公的耳目里。(《小说选》P461)
  21. 每当我下决心准备回去而终于未能成行的时候, 我的愧疚就更甚。(《佳作》P93)
- 棒線と波線で示しているように、波線部の時間状語は棒線部の否定の言葉を伴っている助動詞の前に置いてある。

C、時間状語は助動詞を含む動詞連語や述語全体を修飾する場合には助動詞の前に置き、助動詞を修飾しない場合には助動詞の後に置く。

22. 你现在能挣多少钱呀？（《小说选》P471）
23. 刨去上税进贡的冤钱，一天至少也能落个十块吧。（《小说选》P472）
24. 从我上中学可以自己选择衣服之后，我就从未穿过花衣服。（《说谈》P78）
25. 两分钟前他不会想到自己居然要赢。（《佳作》P10）
26. 上班前下班后还要给关系户治牙，无暇重整棋艺。（《佳作》P4）
27. 既使面对同事他也能几年不与他们说话。（《佳作》P16）
28. 她们一致认为，人都应该早死。（《马桥》P76）

22～26の用例で示しているように、波線部の時間状語は助動詞を含む述語全体を修飾するものだから助動詞の前に置いてある。また27～28の用例で示しているように、波線部の時間状語は助動詞以後の部分だけを修飾するものだから助動詞の前に置いてある。

D、時間の順序や長時間などの意味を表わす状語は助動詞の前から後へ、後から前へ置き換えることは可能である。

29. 你应该先征求我们意见。（《小说选》P480）
30. 一个人可以同时是父亲、儿子、工作人员、居民、与别人有父子关系、同事关系、邻居关系等等。（《说谈》P51）
31. 只要他愿意，随时可以走进街边任何一家装饰高雅的大酒店。（《佳作》P290）
32. 我一辈子不能只是在电视上见过北京。（《佳作》P301）
33. 我们在九四年肯定能看见美男子费渔和哑女珠珠，看见那对倾国倾城的新郎和新娘。（《佳作》P174）

用例29、30の波線部の状語は棒線部の助動詞の前に置き換えることが可能である。一方、用例31、32、33の波線部の状語は棒線部の助動詞の後に置き換えても構わない。

E、一部の場所を表わす状語は助動詞の前から後に、後から前に置き換えることは可能である。

34. 开着大奔在二环路上能跑90迈。（《佳作》P317）
35. 看来还是得挣个科长什么的当当，以便在单位宿舍里能分到一套住房。（《佳作》P59）

用例34 35の波線部の状語は棒線部の助動詞の後に置き換えることは可能である。

### 3、程度を表わす状語

程度を表わす状語は助動詞の前に置かれる場合には助動詞を含む動詞連語や述語全体にかかる。助動詞の後に置かれる場合には助動詞にはかからず、助動詞後の動詞や述語にかかる。

36. 我告诉你，你千万不能把它带回家。（《佳作》P124）
37. 他完全可以把这匹纸马从老人眼皮底下带走。（《佳作》P124）
38. 年轻的时候，我非常能吸烟。（《佳作》P112）
39. 天下不会只有一个嘴角长痣的，万万不能弄错。（《佳作》P152）
40. 曾明几乎能够听到自己的心跳，也能感觉到刘主任的心跳。（《佳作》P284）
41. 女的竟能一个人唱一场《二进宫》。（《佳作》P44）
42. 这太恶毒太不能令人容忍了。（《佳作》P59）
43. 那种事情根本不能算数。（《佳作》P34）
44. 上层叫“烟篷”四边无遮挡，风、雨都可以吹进来。（《佳作》P39）
45. 让她的小伙伴都能体验到那份欢乐。（《佳作》P66）
46. 我们的全部历史都未能逃脱时间的坐标。（《小说选》P462）
47. 如果要找工作，就必须把自己的优点都说出。（《说谈》P36）
48. 跟在范妞身后，可以随便在药房柜台里外、楼上楼下玩。（《佳作》P24）
49. 他觉得他必得跳进去才能真正看见窗前这个男人。（《佳作》P14）
50. 只能因陋就简，在道具服装等方面是不能太讲究的。（《马桥》P51）

用例36～46の波線部の程度を表わす状語は助動詞の前に置いてあり、助動詞を含む述語全体を修飾する。用例47～50の波線部の状語は助動詞の後に置いてあり、助動詞を修飾せず、助動詞後の述語を修飾する。

## IV おわりに

以上、中国語の助動詞の位置について簡単に考察してきた。これらの考察を通じておよそ次のようなことがまとめられよう。

- ①助動詞と動詞との大きな違いとしては助動詞には受け身がないことが上げられる。
- ②助動詞と副詞との大きな違いとしては副詞には否定式がないことが上げられる。
- ③助動詞は基本的に動詞と直接結びつき、動詞との間には何も置かない。
- ④動詞を修飾する介詞連語がはいる場合には助動詞は介詞連語の前に置く。

⑤動詞や形容詞の前にその動作や状態を修飾する描写性状語などがある場合には助動詞はその状語の前に置く。

⑥動詞の前に動詞の動作や状態を非描写的に修飾する非描写性状語が入る場合には助動詞はその非描写性状語の後に置く。

⑦助動詞を含む述語全体を否定する場合には否定の言葉は助動詞の前に置き、述語だけを否定する場合には助動詞の後に置く。

⑧時間や場所を表わす状語は助動詞を含む動詞連語や述語全体を修飾する場合には助動詞の前に置き、述語だけを修飾する場合には助動詞の後に置く。

⑨一部の時間や場所を表わす状語は助動詞の前から後へ、後から前へ置き換えることは可能である。

⑩程度を表わす状語は助動詞の前に置かれる場合には助動詞を含む動詞連語や述語全体にかかる。助動詞の後に置かれる場合には助動詞にはかからず、助動詞後の動詞や述語にかかる。

#### 注

- 1) 《馬氏文通》馬建忠著 1898 年
- 2) 《馬氏文通説本》呂叔湘、上海教育出版 1986 年
- 3) 《中等国文典》章士釗 1907 年
- 4) 《漢語口語語法》趙元任、商務印書館 1979 年  
《語法講義》朱德熙、商務印書館 1982 年
- 5) 《新著國語文法》黎錦熙、商務印書館 1992 年。《語法与語法教学—介紹“暫拟漢語教学語法系統”》張志公、人民教育出版社 1959 年
- 6) 《中国語法理論》王力、中華書局 1955 年  
《中国文法要略》呂叔湘、商務印書館 1982 年
- 7) 《現代漢語》胡裕樹、上海教育出版社 1981 年
- 8) 同上 4) 《漢語口語語法》。
- 9) 朱德熙《語法講義》呂叔湘《現代漢語八百詞》、胡裕樹《現代漢語》
- 10) 同上 5) 《語法与語法教学—介紹“暫拟漢語教学語法系統”》。
- 11) 本稿では = は主語、- は述語、~ は目的語、[] は連用修飾語、< > は補語を表わす。
- 12) 同上 4) 参照
- 13) 同上 6) 参照
- 14) 《新編現代漢語》張 静、上海教育出版社 1980 年
- 15) 《中国文学新佳作集成 3》中国文学出版社 1997 年、以下《佳作》と略称。
- 16) 《一九八七年短篇小說選》人民文学出版社 1989 年、以下《小說選》と略称。
- 17) 《馬橋詞典》韓少功著、上海文芸出版社 1997 年、以下《馬橋》と略称。
- 18) 《説漢語談文化》吳曉露主編 北京語言学院出版社 1994 年、以下《説談》と略称。